

いっしん

Vol. **130** 2021. 1 (隔月刊)

社会福祉法人 一心福祉会

<https://www.isshinfukushikai.or.jp/>



法人ホームページはこちらから。
携帯・スマートフォンからでも
広報いっしんを閲覧できます。

門松の配達準備を頑張る
えすの里利用者さん
撮影者：前田 久志

コロナウィルスと共に歩んだ1年

～法人内発生状況と感染予防の取り組み～

中国の武漢で発生した新型コロナウイルスは全世界へ飛び火し、ここ沖縄県内でも猛威を振いつ収束するか予測不可能な状態です。

県内で最初の感染者が確認された後、当法人も感染症対策委員会を開き、感染防止対策の徹底を第一弾として全事業所へ発令し、現在に至るまでフェーズに応じて発令した情報は全部で第十六弾を数えます。

七月～九月には発生を想定したシミュレーションを行いました。第二波に入った八月に法人内施設の利用者一名が抗原検査陽性と診断されましたが、嘱託医の指示のもと、北保健所の担当医や県に派遣された厚労省クラスター対策班から医師より大きな力添えを頂き、感染者を一名で抑える事が出来ました。職員一丸となって乗り越えた努力（使命感）には心から感謝を申し上げたいと思います。

家族の皆様におかれましても、コロナ禍での感染予防の一環として実施している面会制限にご理解・ご協力を頂き感謝しております。現在の県内や北部圏域での感染状況

写真で振り返るコロナ感染予防対策



感染者発生時を想定した訓練の実施



感染症対策勉強会



は増加傾向にあり、今後もご家族に対し面会制限を継続せざるを得ない状態でございます。引き続きご理解の程よろしくお願ひします。

第三波の大きな波を乗り越えていつもと変わらない穏やかな日常生活が送れる様に願う次第です。

障害者支援施設一心療護園
施設長 金城 英子

全事業所へ情報発信

第16弾 令和2年12月18日(金) 年末年始の緊急特別対策の実施について
(令和2年12月14日(月)～令和3年1月12日(火)迄)
沖縄県では年末年始の過ごし方について緊急特別対策を発出しました。
北部地区の新規感染者の増加がみられ、病院では満床状態で医療が逼迫しています。医療崩壊を防ぐためにも職員の皆様のご協力をお願いします。

- ① 忘年会、新年会は自粛しましょう。
- ② お正月は自宅で家族と静かに過ごしましょう。
- ③ 職員は感染しない、感染させないを徹底する。

感染発生時の施設の様子（ゾーニングと利用者支援）



コロナ感染者居室のゾーニング体制

コロナ発生時の食事介助の様子

光インターネット

タブレット活用

やんばるの家では、これまで手書きで行っていた食事摂取量などの記録をタブレット入力に切り替えることを検討しています。

間を利用者とのコミュニケーションを図る時間に使え、記録作業で見守りが手薄になっていた時間帯を手厚くすることで安全面での効果に期待をしています。

導入によりこれまで入力作業に費やしていた時



食事記録の入力を試す職員

法人職員向け
メール活用

職員向けのお知らせをメールを使い一斉に送信できるように体制づくりに取り組んでいます。



QRコードを読み取るだけで簡単登録♪

研修も With コロナ

新型コロナウイルス感染症の影響で県内外の研修の在り方が見直され県内でもWEB研修が主流になっていきます。

一心福祉会でも、WEB研修が出来る環境を整え県内外のWEB研修に参加しています。

研修自体もZOOMを活用しており、顔も合わせながら意見交換も出来るので、通常の研修とあまり変わりません。

WEB研修に参加した職員からも、会場だと休憩時間のトイレ等が大変だが、WEB研修ならそれが無いので楽、パソコンとネット環境さえ整えば

何処でも受けられるメリットがあるとの声がある一方、県外研修等、現地でしか味わえない交流や経験が出来ないのが残念という声もありました。

一心福祉会としても、WEB研修の活用を推進しコロナ禍でも、学びを止めず、前進し続け職員のスキルアップ（人材育成）や、サービスの質の向上に努めていきます。



思った以上に集中して参加できました。

新コーナー
あつまれ
一心福祉会のなかま

友に働く仲間を
リレー方式で
紹介!!

やんばるの家 介護員
仲本 正樹さん

知り合いの紹介で入社して三年になります。

介護の仕事はまだまだ勉強するところが多いです。

プライベートでは実家の農業を手伝っています。

仕事の後のビールが最高です!



カボチャ、シブイを作って作ます

次は同じ東村出身でイクメンの金城信吾君にバトンを渡します。

クリスマス&忘年会



今年も、あつという間の年末を迎えた一心福祉会、今年は、コロナウイルスと共に過ごした一年で、利用者・職員共に耐え忍んだ年でした。そんな時だからこそ、クリスマス忘年会は、感染症対策を講じながら各拠点で盛大に行い、楽しみました。来年はコロナも、落ち着き通常の生活に戻れます様に…。



やんばるの家、事務員の皆さん手作りのケーキバイキング♪

グループホーム つつじ苑



みんなで安里屋ウンタ歌う♪

グループホーム きじょか



来年も良い年になりますように♪

小規模 いっしん



私達、サンタガールズです♪

やんばるの家



104歳！元気にカチャーシー♪

デイサービスセンターやんばる



職員とデュエット♪熱唱です！

えすの里



みんなでダンスタイム♪



スポーツレクで リフレッシュ



玉入れ



パン食い競争



車いすルール



コロナ禍での余暇活動はもっぱら室内での活動ですが、たまには外で体を動かして楽しく過ごしたいとの思いにこえスポーツレクを企画しまし

た。
日差しを浴び、心地よい空気に癒されながら、大盛り上がりなレクレーションになりました。

★★「頑張った」DE賞★★



えすの里
宇米原 玉美さん

障害者の日は、一九七五年十二月九日国際連合の第三〇回総会において「障害者は、その障害の原因、特質及び程度にかかわらず、市民と同等の基本的権利を有する」という障害者の権利に関する決議（障害者の権利宣言）が採択された日を記念して誕生しました。

障がい者の目表彰 〜日頃の活躍を称える〜

★★お手伝い頑張ったで賞★★



一心療護園
金城 初子さん

一心福祉会でも、今年一年活躍した利用者さんへ感謝の気持ちを込め、表彰状を贈りました。受賞された利用者さんも「とても嬉しい！これを励みにまた頑張ります」と満面の笑顔で話していました。
この表彰をモチベーションに利用者さん皆が活力ある楽しい生活に繋がれば幸いです。



大正・昭和・平成・令和と様々な出来事に、人には言えない、話せない苦勞もありましたが、楽しい事も多々あり、何度か入院生活もしました



やんばるの家人所者
宮城 カネさん（95歳）
塩屋区



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」（ライフヒストリー）と題してご紹介する企画です。

家族の生活を守るために働き、辛い事だけでなく、楽しくやりがいもありました。働き続けたことで、沢山の方との、出

- ・歩いて屋我地島いき、塩を買って商売したこと
- ・田植え・畑仕事・養豚・養鶏・炭売り・豆腐作り商売
- ・冷蔵庫がない頃はアイスケーキを頭に乘せて売り歩く商売
- ・もやし作り
- ・パイン工場でジョウシカー（調理）
- ・開発青年隊のジョウシカー（調理）
- ・友善ホテルジョウシカー（調理）
- ・マリンでの弁当作り手伝い等いろいろとしてきました。

わたしの仕事



ホテルの従業員食堂にて

が、前向きに頑張ってきました。



最上川船上皆を楽しませるカネさん

旅行では北海道・大阪な

は、じいうってー（歌い手）何度もやりました。民謡愛好会・老人会のカラオケ大会・若松会と着物着ておしゃれして、仲間と楽しみました。

また塩屋の豊年祭では、唄や踊りが大好きで、塩屋の海神祭では、ハーリー迎やー（船を迎える人）で太鼓たたいたりして、新聞にも掲載されました。

地域の行事に参加 楽しさ喜びも沢山

会いもあり、知人も多いです。今でも懐かし顔が浮かびその頃を思い出します。



海神祭のハーリー迎え

娘から感謝のことは
母は、三人の子供を育て、生活の為に、いろいろな仕事をして来ました。一緒に働いたという仲間から「カミジユウ（カネさんの愛称）さん元気

どに行き、そこでも唄踊りして皆を盛り上げました。旅行写真も沢山あり、いい思い出となっています。八十歳の頃に、緊急で十二時間かけて心臓の手術をしました。前日まで元気で唄い踊っていたので、先生は心臓の手術をする事に決めたとのことでした。今でも、老人ホームで楽しんで唄を歌っています。

か？あなたのお母さんには色々助けられた、お世話になった、楽しかった、一緒に踊った」など、声をかけられることがあります。一緒に働き五十年程会ってなかった同僚が、自宅を訪ねて来たこともありました。コロナ禍で今は会えないのが残念と話された方もいます。知人との絆も深く、前向きで一生懸命生きてきたのを感じます。

長女・河合洋子



出荷待ちでございます



配達に参りました！



大きくなってね♡



えすの里自慢の門松です♪

丹精を込めて

就労センターえすの里

就労センターえすの里では日々生産活動に取り組み工賃向上に努めています

ます。農園芸班では十二月東村花いっぱい運動に納品する花苗の育成や正月の門松制作を行いました。花育成の作業に参加した利用者さんは「綺麗なお花が咲いて頑張ったかいがあつた」と笑顔で感想を話してくれたり、門松制作に参加した利用者さんは「忙しくて疲れたけど、上等が出来て、買ってくれた人が喜んでくれたらいいな」と満足気に語ってくれました。

書道

グループホームえすの里

グループホームえすの里では、障害者による書道全国コンテストに応募したい人を募り、休日や夜の余暇時間を利用し書道に取り組みました。

学生の頃ぶりに書く利用者さんがほとんどで、久しぶりの書道に新鮮さを感じ楽しんでいました。漢字が書けない方も、「火」や「山」など書きやすい漢字に挑戦し、思い切り力強く書き上げる事が出来ました。一字一字真剣に向き合う方もいれば、のびのび自由に書く方など、それぞれの個性が字に表れ満足のいく素晴らしい作品になりました。

手作り 和紙の活用

えすの里

えすの里では午前中の軽作業時間、牛乳パックちぎりをしています。そのちぎった紙を利用して和紙を作り、その出

来た和紙を使い、賞状・お祝儀袋・お年玉袋等に再利用しています。これが中々の出来で購入者からも「上等」「もっと欲しい」との声が聞かれます。又「こんな風にしたら」「こういうのもいいかも」等アドバイスを頂き、試行錯誤しながら改善を行っています。



上手に出来たよ！

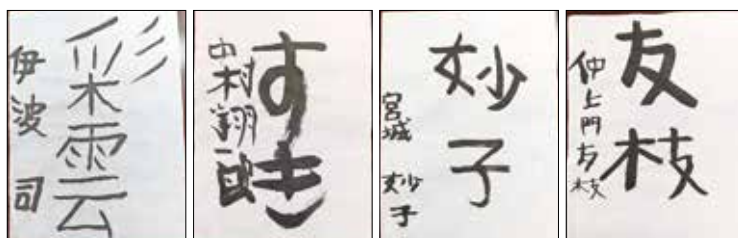
す。買って頂ける方に、もっと喜んで頂ける様に利用者と一緒に「物作り」を楽しみたいと思います。



これだな！

「密」でしょ！オレ「金」～♪

書いたよ～♪



利用者さんの作品紹介コーナー

2021年の干支「丑」をテーマに!!

グループホーム えすの里 島袋ちはるさん作



「干支の丑」は俵を担いだ縁起が良いイメージ

グループホーム きじょか

トピックス

～ジャンボ沖縄カルタ～



やっぱり勝負事になるとみんな真剣です♪

季節をテーマに創作! 一心療護園



木の枝におはながみて桜の花を表現♪

本物みたい♪



今年のコロナ収束を願って!



番外編

職員作

◇◇◇◇◇ 一心福祉会 老人介護施設入所 待機者状況 ◇◇◇◇◇

施設名	定員	空き状況	待機者
特別養護老人ホーム やんばるの家 (☎0980-44-2288)	50名	0名	30名
デイサービスセンター やんばる (☎0980-44-2033)	33名(1日)	1～2名	2～3名
小規模多機能ホーム いっしん (☎0980-44-2662)	25名	2名	0名
グループホーム きじょか (☎0980-44-3015)	9名	0名	2名
グループホーム つつじ苑 (☎0980-43-3800)	9名	0名	3名

※詳しいお問い合わせは各施設にご連絡ください。

令和3年1月1日現在